

V-22オスプレイ飛来に係る騒音測定結果

- 1 測定日： 令和6年8月22日（木）
- 2 測定場所： ①道路車両センター
②南町配水場
③南町福祉センター
- 3 測定方法： オスプレイの機影を目視確認できたものについて騒音測定を実施
- 4 航空機： V-22オスプレイ（陸上自衛隊配備）
- 5 測定結果： 各測定場所のピーク騒音レベルの最大値は次のとおり

（単位：dB）

	①道路車両センター	②南町配水場	③南町福祉センター
最大値	83.7	84.0	63.9

※1 騒音の目安：

- 130dB:耳の疼痛感、飛行機のエンジン間近
- 120dB:飛行機のエンジン近く
- 110dB:自動車の警笛（前方2m）、ロックコンサート会場
- 100dB:電車通過時のガード下
- 90dB:大声による独唱、騒々しい工場内、カラオケ店内、ボーリング場
- 80dB:地下鉄の車内
- 70dB:電話のベル、騒々しい事務所
- 60dB:静かな自動車、通常の会話（距離1m）
- 50dB:静かな事務所

※2 測定値は航空機騒音に係る環境基準において示された測定・評価方法とは異なった手法により求められた値となります。

測定値は速報値です。確定値については、データ等を精査し、帯広市環境白書にて公表します。